がんばろう
末崎！
津波なんかに
負けない！

館報まっさき

第２６１号
平成２８年８月２２日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話（F 兼）29-2955

末崎の風土散策　（５０）
～細浦駅の歴史たどる～　その４

細浦駅には転車台（罐回し）があった。昭和８年１２月９日大船渡線が、一関駅から細浦駅まで開通になりここが最終駅（終点）として折り返しのため、昭和１０年盛駅まで開通するまで２年間のあいだ転車台が置かれていた。場所は現在の細浦駅の南東側に作られその都度、蒸気機関車を一関方面（上り）に折り返し転換するため、転車台にのせ機関士や駅員達が人力で取手を押し、回転させる作業があった。大船渡線で車輌を牽引する蒸気機関車（ＳＬ）の形式（種類）は次のとおりであった。

人力による転車（罐回し）台

大船渡線で活躍したＳＬ

形　式	製　造　期	製造台数	用　　途
８６２０	１９１４～１９２９年	７３２台	昭和９年頃大船渡線で走行
Ｄ５０	１９２３～１９３１年	３８１台	全国主要線区や貨物列車の牽引、勾配の急な線区に使用、大船渡線でも利用
Ｃ１１８	１９３２～１９４９年	４０１台	
Ｄ５１	１９３５～１９４４年	１１１５台	主に貨物輸送、東北線の幹線貨物列車の牽引に使用
Ｃ５８	１９３８～１９４７年	４３１台	大船渡線でも走行していた。尚、昭和４３年３月１９日で大船渡線でＳＬは廃止

大船渡線で列車を牽引し活躍したのは、８６２０、Ｄ５０、Ｃ５８形式の機関車と考えられる。（聖）

市に陳情（市道を県道に格上げ）

末崎町復興推進委員会は７月27日、大船渡市に「上山の学校前から末崎小学校前までの市道を県道に格上げして整備して頂くよう県に要請してほしい」旨の陳情をした。

現在、岩手県は東日本大震災のような大津波が襲来した場合に、末崎町の各地域を結ぶ道路が寸断されることがないよう高台を通る新たな二つの道路を計画し、平成30年度完成をめざしている。一つは船河原から平の防災集団移転促進事業による住宅地付近（平野義克様宅の前）までの2.2kmの新主要地方道大船渡広田陸前高田線である。もう一つは末崎小学校前から碁石までの2.7kmの一般県道碁石海岸線である。この新県道は歩道2.5m車道7.5mの幅員10mの道路である。願わくは、この二つの新県道が直接結ばれれば名勝碁石海岸へ多くの観光客を誘客できるのであるが上山の上部斌様宅前の所から末崎小学校前までの区間が市道になっており、道幅も狭く大型バスの乗り入れが厳しい状況である。

名勝碁石海岸への誘客を図るためには、何よりも道路整備が最も重要であり、整備されれば大船渡市の発展に大きく寄与することは明白である。

大船渡市を代表する観光地、碁石海岸への誘客を図るためには、何よりも道路整備が最も重要であり、整備されれば大船渡市の発展に大きく寄与することは明白である。

ついては、この市道を県道に格上げして整備して頂くように県当局に強く要請していただきたいと陳情した。

さらに、船河原から碁石海岸までの県道として整備されれば、次の効果が期待できるので、末崎町のみならず大船渡市の更なる発展のために、特段のご配慮を願いたいと付した。

〈二つの新県道が結びつくことによる効果〉

①名勝碁石海岸への観光客をより多く誘客できること
②被災地の跡地利用について企業誘致が積極的に進められること
③地場産業がより発展できること
④災害時の避難や救命、さらに救援物資等の輸送がスムーズに行われること
⑤平常の救急搬送がよく速く行われ、救命されること
⑥通勤・通院時間が短縮されると共に日々の買い物へ行く時間も短縮され、住民が合理的かつ安心した生活を送ることができること

市長の回答は「それは大変いい考えだ、直ちに担当部局に県と協議して進めるよう指示したい」とのことでした。

★「避難所運営マニュアル作成説明会開催される」

大船渡市（防災管理室）は去る7月28日、ふるさとセンターにおいて避難所運営マニュアル作成に関する末崎地区説明会を開催した。

その内容を列挙するとつぎの通りである。

1 マニュアル作りの目的・基本的な考え
2 災害対策本部、地区本部、避難所の役割・関係
3 災害対策本部、地区本部、避難所の連携
4 避難所の開設・避難所内での役割分担
5 マニュアルの使い方
6 マニュアルの構成案
7 マニュアルイメージ
8 今後の予定

東日本大震災から避難所のあり方について、多くのことを学んだ。避難所は、地震、津波、風水害等大規模災害が発生した時、または発生のおそれのある時、開設される。避難所は公民館から学校の体育館、保育園、お寺、神社の社務所等市内各地域の置かれた環境や状況によって異なる。避難民も子供から高齢者まで様々な立場や帰る手段を失った旅行者など色々であり、そこでの共同生活を余儀なくされる。また避難所運営について考えると高齢者が多いのか否か、世話してくれる若者がどれほどいるのかによっても運営のあり方が違う。また、避難民がしばらくの間、共同生活の場となることから役割やルールをつくって、お互いに協力し合い助け合ってストレスがたまらないよう、よりよい運営に心がけねばならないとする内容であった。

市では、今年度市内各地区を回り説明会を開き意見を伺って、平成29年度中に避難所運営マニュアルをまとめたいとしている。

お知らせ

末崎町敬老会

日　時　平成28年9月11日（日）
場　所　末崎中学校　体育館

末崎町在籍で75歳以上の方が対象になります。後日、書面でご案内申し上げます。

末崎町民文化祭

期　間　11月4日（金）～6日（日）
場　所　ふるさとセンター
末崎中学校　体育館

作品の出展を募集いたします。それに向けての準備をお願いします。詳細につきましては後日、お知らせいたします。

☆いやしの集い

期　日　9月10日(土)
9月24日(土)
時　間　13時～16時
会　場　ふるさとセンター

※裁縫道具をお持ちください。「どなたでもご自由にご参加下さい」